

第35回中日産業技術賞「中日新聞社賞」を受賞
さまざまな光のパターンをつくり出すLED照明「ホロライト・シリーズ」

2021年12月2日
パイフォトンクス株式会社
浜松市東区天王町 673 ホロライトビル
代表取締役：池田 貴裕（いけだ たかひろ）

光学機械器具製造販売のパイフォトンクス株式会社（静岡県浜松市東区/代表取締役：池田貴裕）が製造・販売する、高輝度発光ダイオード（LED）と光学素子の組み合わせにより、視認性の高い光パターンを形成する「ホロライト・シリーズ」が、第35回中日産業技術賞（中日新聞社主催、経済産業省後援）において、「中日新聞社賞」を受賞いたしました。12月3日（金）に中日新聞社 名古屋本社 6階 大ホールにて贈呈式が催されます。

中日産業技術賞は、日本経済の根幹をなす産業技術の発展に資することを目的に1987年に創設されました。優れた技術・製品の開発に対し、将来への発展性や健康・福祉への貢献性などを「先進性」「波及効果」「市場性」の視点から総合的に審査し、学識経験者によって選考されます。今回の中日新聞社賞では、中小企業やベンチャー企業、スタートアップが対象となり「チャレンジ性」、「成長性」、「実行性」についても審査されました。

当社の主力製品である光パターン形成LED照明装置「ホロライト・シリーズ」は、高輝度LED光源と大型光学素子の組み合わせにより、遠方に視認性の高い光パターンを形成できる製品です。光パターンの種類はドット・ライン・リング・アーチ・アロー・クロスなど多岐に渡り、特許は日本・米国・欧州6か国・中国で登録済です。用途は、検査・演出・建築・安全・道路・芸術・観光・実験など多様な分野で活用されています。

近年では、安全用途として製造工場の天井クレーンの吊荷下やフォークリフト後方の危険ゾーンを光のラインで可視化するなど製造業における労働災害の低減のために導入が進んでいます。昨年には、都市部の社会課題の一つである「ムクドリのねぐら問題」の解消に向けて、浜松市と共同で実験を行い、光刺激による鳥獣の新しい追い払い方法として話題になりました。実証実験の成果として携帯型鳥獣対策用LED照明「ホロライト・チェッカーズ」を本年4月に製品化するなど新規事業開発を行っています。本受賞理由として、技術面だけではなく、用途拡大を積極的にすすめている「チャレンジ性」が評価されました。

パイフォトンクスは「新しい光の使い方を追求し、地球の未来を拓く」をスローガンとしており、今後も光技術の無限の可能性を追求していきます。

<代表取締役 池田貴裕 受賞コメント>

今回このような賞をいただくことができ大変嬉しく思っております。ホロライトは創業当初、使い道の分からない技術シーズのひとつに過ぎませんでした。事業を進めるなかで様々な方々と出会い、ヒントをいただくことで安全・演出・検査と用途を広げてまいりました。このように当社では顧客ニーズをくみ取ることが製品開発の源泉となっています。その一例が鳥獣対策への活用です。今年4月に製品化した携帯型鳥獣対策用LED照明「ホロライト・チェッカーズ」は市街地のムクドリによる騒音やフン害に困っている方々の声に耳を傾け、地域の方々に協力いただきながら、実証実験を重ねることにより誕生しました。パイオニクスは今後も、より多くの方のお役に立てるよう新しい光の使い方を追求し、更なる技術革新を行ってまいります。また今回の賞金については社会貢献活動への活用を考えております。

<受賞製品：光パターン形成LED照明「ホロライト・シリーズ」>

- ① 高指向性LED照明「ホロライト」
- ② 角型光パターン形成LED照明「ホロライト・カク」
- ③ 丸型光パターン形成LED照明「ホロライト・マル」
- ④ 直線型光パターン形成LED照明「ホロライト・ライン」
- ⑤ 円環型光パターン形成LED照明「ホロライト・リング」
- ⑥ 角環型光パターン形成LED照明「ホロライト・リングスクエア」
- ⑦ 円弧型光パターン形成単色LED照明「ホロライト・アーチ」
- ⑧ 矢印型光パターン形成LED照明「ホロライト・ドットアロー」
- ⑨ 十字型光パターン形成LED照明「ホロライト・ドットクロス」
- ⑩ 円弧型光パターン形成虹色LED照明「ホロライト・レインボウ」
- ⑪ 携帯型鳥獣対策用LED照明「ホロライト・チェッカーズ」

<当社の概要>

当社は、2008年4月に高指向性LED照明「ホロライト」を開発し、製造現場での検査、各種イベントや建築物の演出照明、大学研究機関の実験などさまざまな場面で採用されてきました。光パターン形成LED照明「ホロライト・シリーズ」は、高輝度LED光源と大型光学素子の組合せにより空間にさまざまな光パターンを形成するオンリーワン製品で、日本、米国、中国、欧州で特許登録済です。近年では、工場内の労働災害を低減する安全用照明、地域や人々のもつ魅力を生かして地方創生を実現する観光用照明、光害を低減し新しい景観を創造する建築用照明、新しい鳥獣対策などの新しい光の使い方を追求しています。



報道関係者には、写真をデータで提供しますので、下記までお申し付けください。

この件に関するお問い合わせ先
 ■パイフotonics株式会社 <https://www.piphotonics.com/>
 〒435-0052 浜松市東区天王町 673 ホロライトビル
 TEL:053-581-9683 FAX:053-581-9684 E-mail: info@piphotonics.co.jp